

平成25年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：中村 太祐

実習先：奥平外科医院

実習期間：平成26年8月5日（火）～10月14日（火）

実習生感想：

在宅・地域医療実習を通して、長崎市梁川町にある奥平外科医院で二ヶ月の実習をさせていただきました。

奥平外科医院では10数名程度の患者の在宅診療を毎週火・金曜日の午後に行っておられます。院長である奥平定之先生と大坪看護師のお二人で往診しておられ、僕は毎週火曜日の往診に帯同させていただき、原爆病院や大学病院の入院患者の退院前カンファレンスにも同行させていただきました。

往診場所は主に奥平外科医院のある梁川町を中心に西坂、木鉢、大浜など（行けるところはどこでも）で、通院に負担のある斜面沿いの家宅が非常に多く、担癌患者だけではなく脳梗塞後、慢性心不全や認知症などの慢性疾患の患者の往診も多くおられました。

奥平先生や大坪看護師と多くの **discussion** や雑談??もさせていただきました。基本的には在宅診療・在宅看護はほとんどの患者に適応出来ると言っておられました。在宅診療をしながら、ご家族の理解も深まり、重症患者を在宅でみる事が可能であることをこの実習で理解することができ、非常に有意義でした。

私の専門は放射線治療であり、放射線治療は高齢者にも負担の少ない低侵襲な治療であると謳っており、緩和ケアにおいても非常に重要な要素を占めていると思います。病診連携は徐々に進んできていますが、在宅患者と放射線治療をつなぐインフラがほとんど整備されていないと実感しました。通院や入院で放射線治療を受けるよりは、在宅で可能な治療を行いたいという患者も非常に多いのではないかと推測されます。放射線治療の分野で考慮しなければならない問題のひとつであると思います。

在宅診療の実際をみることで、放射線治療の課題もわかり非常に有意義でありました。奥平先生、大坪看護師、奥平外科医院スタッフの皆様、患者の皆様、本当にありがとうございました。



実習後オリエンテーションにて

